

地球温暖化について

ぼくは、サッカーをしています。夏になると暑くて暑くて大変です。おばあちゃんが昔はこんなに暑くなかったと言っていました。どうして昔より気温が高くなっているのか不思議に思ったので今回の講義に参加することにしました。

地球温暖化になる理由は二酸化炭素です。二酸化炭素が増えると太陽からの熱い光を跳ね返せなくなるので、地球があたためられて気温や海水温が上がります。

日本の周りの海は黒潮の影響で、他の国より海水温が高いそうです。

海水温が上がると大雨が降りやすくなり、線状降水帯が発生しやすくなります。

線状降水帯は暖かく湿った空気が山などにあたり、積乱雲が発生して、その積乱雲が何個も連なったものです。積乱雲の雨は1時間くらいで止みますが、線状降水帯ができると大雨が何時間も降り続きます。

線状降水帯によって川が氾濫したり土砂崩れがおこったりしているところをニュースで見ますが、海水温が原因だとわかりました。

そして、海水温が高くなるのは二酸化炭素が増えていて地球の温度が上がっていることが原因でした。

地球の平均気温は100年前と比べて1.3度上がっているそうです。

ぼくの体温は36.5度ですが、37.8度になったらとても苦しいです。だから地球も今とても苦しいのだと思います。

地球を助けるために、これからどうやって二酸化炭素を減らしていけばいいか考えたいです。

福田 篤大 (ふくだ あつと)